

単元名 かたかなで書くことば

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 片仮名を書くとともに片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うことができる。
(2) 語と語との続き方に注意することができる。
(3) 片仮名で書く語の種類を知り、片仮名を使って文を書こうとする。

標準的な展開例

02010214_001

【教材名】かたかなで書くことば (下 P. 50～P. 51)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 片仮名で書く言葉の種類を知り、片仮名で書く言葉を集める。 ★片仮名で書く言葉を集めよう。 ○片仮名言語クイズをする。</p> <p>○どのような言葉を片仮名で書き表すか、確認する。</p> <p>2 教科書(P. 51)の絵を見て、片仮名を読んだり、片仮名を使った文を書いたりする。 ○片仮名で書かれた言葉を読む。</p> <p>○絵を見て、動物たちが何をしているのかを考え、文を作る。</p> <p>○できた文を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・片仮名を平仮名で書いた文を提示し、どの部分を片仮名で書くか考えさせる。 ・片仮名言語クイズをして、どのような言葉が片仮名になっているのか確認する。 ・擬態語や擬音語は混同しやすいので、丁寧に扱う。 ・外来語は児童にとって区別しにくいものもあるので、分かりやすいものを取り上げて確認させる。 ・動物の名前も片仮名で書くものが多いことに気付かせる。 ・シヤツ、ソトンなど児童が間違えやすい片仮名の書き方を確認する。 【評】文作りを通して、どの言葉を片仮名で書くのかを知り、文や文章の中で片仮名を使う「知識・技能」を評価する。 【評】文作りを通して、語と語の続き方に注意して文を書く「思考・判断・表現」を評価する。 【評】文作りを通して、片仮名で書く言葉の種類を考え、片仮名を使って文章を書こうとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・グループやクラスなど、発表の仕方を工夫して交流させる。

【 備 考 】